

水産業強化支援事業事後評価報告書

		和歌山県水産振興課
政策目的	当地域での主要水産物であるイセエビの漁獲量を増大させ、漁業所得の向上を図るため、つきいそ（投石）による漁場の造成を行う。	
政策目標	イセエビ漁獲量の向上	整理番号：31-2
事業実施主体	那智勝浦町	
実施地区名	那智勝浦町浦神・浜ノ宮	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成31年度	令和4年度
交付金額	9,500,700円	
事業計画の内容	つきいそ（投石）による漁場の造成（2,900m <sup>3</sup> ）	
評価	成果目標	イセエビ漁獲量の向上
	現状値	（令和4年度末時点） 12,708kg 試験操業結果から推定
	目標値	（令和4年度末） 12,530kg
	（1）現状値の説明	令和4年度実施の試験操業結果から本事業で整備したつきいそ漁場での水揚量を推定すると1年あたり552kgとなり、令和4年度漁獲実績（12,156kg）に推定増加量分を加えた値（12,708kg）は、目標値を超える。
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	当地方のイセエビ漁業は、安定して収入の得られる数少ない生業の一つである。当該つきいそ整備は、漁獲量の向上、収入の向上・安定に寄与している。また、イセエビ漁業には高齢の漁業者も従事しており、近場での操業機会の増加は、経費削減の他、操業の安全性向上にも寄与している。
	（3）所見	当該整備箇所では当初計画以上の効果が見込まれ、整備から3年間を自主的な禁漁期間とすることで、当該つきいそ整備の効果を一層高めているものと考えられる。
（4）評価機関への意見等		
今後の改善方向等に関する分析	引き続き、適切な資源管理を推進し、整備漁場効果を維持していくこと必要と考える。	